

IB 入試推薦選抜(2023 年 1 月 19 日実施)の「小論文」について

筑波大学附属坂戸高等学校

令和 5 年度入試から IB 入試推薦選抜が導入されました。この度は、「小論文」の出題方針について公開いたします。

1. 基本方針

IB は、十の学習者像に基づく全人教育です。そのため、入試においても十の学習者像を意識した小論文を出題する予定です。

2. サンプル問題

以上の基本方針を意識し、以下のサンプル問題を公開致します。IB 入試推薦選抜を受験予定の受験生は、日頃から十の学習者像を意識して過ごしてください。

IB の十の学習者像のひとつに「挑戦する人」が掲げられている。グローバル社会で生きる上で、なぜ「挑戦すること」は大切なのか、あなたの意見を述べよ。

字数：600 字以内

Risk-takers 挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

(国際バカロレア機構：<https://www.ibo.org/benefits/learner-profile/>)

○評価の観点

1. 文章・表現について

3～5 段落で構成されており、かつ字数が 500～600 字である。また、正しい表現・表記、原稿用紙の使い方で記述している。主語-述語の関係もはっきりしており、文章として読みやすい。

2. 課題の理解について

十の学習者像を理解した上で、適切に問いに答えている。

3. 客観性・説得力について

自分の意見に客観性を持たせるため、問の一文を複数の観点で分析している。また異なる見方や考え方を取り入れ、客観性と論理性を高めている。自分の意見を支えるための理由や具体例が説得力をもって書かれている。立論全体の中で、提示された具体例や根拠が効果的に機能している。

・本件に関する問い合わせ
DP コーディネーター：吉田賢一

Tel: 049-281-1541

以上